

第6学年 国語科 年間学習指導計画

学	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動 <言語活動例>	
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準
1 学期	4 月	1 朗読しよう	サボテンの花 生きる 図書館へ行こう	・自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読する。	5		○					【関】作品を読んで、自分が感じたことや考えたことを朗読で表そうとする。 【読】作品を読んで、自分が感じたことや考えたことが伝わるように朗読している。	物語を朗読する。C(1)ア
			ずい筆を書こう	・体験した出来事を振り返り、随筆を書く。	4		○		○			【関】随筆を書くことに興味を持って取り組もうとしている。 【書】自分の体験を振り返り、書くことを決めて書く事柄を集め、全体を見通して事柄を整理している。 【書】事実と感想、意見など区別するとともに、随筆という文種や枚数を意識して詳しく書いたり、簡単に書いたりしたい。	体験した出来事から感じたことや考えたことを、随筆として書く。B(1)ア・ウ
	5 月	2 文章を読んで自分の考えを持とう	イースター島にはなぜ森林がないのか	・筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持つ。	6		○					【関】題名に対する答えや筆者の考えに興味を持ち、進んで感想や筆者の主張に対する意見を出そうとする。 【読】事実と意見を区別しながら読み、筆者の主張に対する自分の考えを持つことができる。	筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えをまとめ発表し合う。☆
			意見と理由のつながりを聞き取ろう	・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。	4		○	○				【関】複数の意見を整理しながら聞こうとする。 【話聞】複数の意見を聞き、共通点や相違点を聞き分けている。	複数の意見の似ている所や違うところを聞き分ける。☆
			熟語の構成を考えよう 漢字の練習	・三字以上の熟語の構成を理解する。	2		○				○	【関】三字以上の熟語に関心を持ち、構成について知ろうとする。 【言】三字以上の熟語の構成について知り、熟語の意味を考えている。	
	6 月	3 人物と人物との関係を考えよう	風切るつばさ	・人物と人物との関係を手がかりに、人物の心情を考えながら読む。	8	8	○					【関】人物どうしの関係をとらえながら、中心となる人物の心情の変化を読もうとする。 【読】中心となる人物の心情の変化を、人物どうしの関わりを考えながら読んでいる。	物語を味わって読む。C(1)エ
			新聞の投書を読み比べよう	・読み手を説得するための工夫を読み取る。	8		○		○	○		【関】投書の特徴をとらえ、進んで書き手の主張や説得の工夫を読み取るうとする。 【読】理由付けの仕方や根拠の挙げ方をとらえ、書き手の意見について自分はどうに考えるか意識しながら読んでいる。 【書】読み手に自分の考えが伝わるように、理由を明確にして書いている。	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む。C(2)ウ

7月	4 新聞の投書を読んで意見を書こう	問題を解決するために話し合おう	・自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。	6	16	○	○				【関】問題を解決するために協力して話し合おうとする。 【話聞】自分の意見を明確にし、相手の意図を考えながら、計画的に話し合いを進めている。	自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。 ☆	
		本は友達	・多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。	2		○			○	【関】自分の興味にあった本を探して読もうとする。 【読】読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を選んで読んでいる。	複数の本を読み、読書の範囲を広げる。☆		
9月	詩を味わおう	いま始まる新しいいま	・情景や心情を思いうかべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。	1	—	○				○	【関】情景や心情を想像しながら、詩や短歌を味わおうとする。 【読】情景や心情を思い浮かべながら詩や短歌を声に出して読み、言葉の響きやリズムを味わっている。	情景や心情を思い浮かべながら朗読する。☆	
		資料を生かして呼びかけよう	・複数の資料から情報を読み取り、自分の意見を伝えるのに効果的なものを選択して、自分の考えを述べる文章を書く。	5	—	○				○	【関】複数の資料から情報を読み取り、効果的な資料を選択して、呼びかけの文章を進んで書こうとする。 【書】自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えている。 【書】引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書いている。	目的にあった資料を選択・活用して文章を書く。B(1)イ・エ	
		漢文を読んでみよう	・漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。	3	—	○					○	【関】漢文の言葉の響きやリズムに関心を持ち、味わおうとする。 【言】漢文の内容の大体を把握し、楽しみながら音読している。	漢文や漢詩を音読する。伝国ア(ア)
		日本の文字に関心を持とう 漢字の練習	・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。	2	—	○					○	【関】日本の文字に関心を持ち、仮名の成り立ちや日本語の表記について知ろうとする。 【言】仮名の由来や日本語の表記について理解している。	
10月		海のいのち	・物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。	9		○				○	○	【関】物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考えながら読もうとする。 【読】場面構成や人物の関係を手がかりに、中心人物の変化を読み取り、物語が自分に最も強く語りかけてきたことをとらえている。 【書】物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、相手に伝えるように構成や表現に気をつけてまとめている。	登場人物の関係をおさえ、それぞれの人物の人物像や心情をとらえる。☆

2 学 期	5 感動の中心をとらえよう	物語を作ろう	・構成を考え、想像したことが伝わるよう表現を工夫して物語を書く。	7	18	○	○	○	○	【関】経験したことや想像したことをもとに、楽しんで物語を書こうとする。 【書】「出来事」とその「解決」という話の筋がよく分かるように構成を考え、物語を書いている。 【書】これまでに学習した物語の優れた叙述を模範にしなが、目的に応じて工夫して書いている。	写真からさまざまな想像を広げて、物語を書く。B(1)イ・ウ
		場面に応じた言葉を使おう	・相手や場面に応じた言葉遣いを理解し、適した言葉を選んで使う。	2		○	○	○	○	【関】相手や場面に応じた言葉遣いの大切さを理解して、意識的に言葉を使おうとする。 【言】相手や場面に応じて適切な敬語を使っている。	
11 月	6 町の未来をえがこう	町の幸福論—コミュニティデザインを考える	・複数の資料から読み取った情報を、目的に応じて活用する。 ・意図を明確に伝えるために、資料を効果的に活用して発表する。	13	15	○	○	○	○	【関】「コミュニティデザイン」に関心を持ち、本文や本、資料を読んで調べ、その内容を相手に伝えようとする。 【話聞】目的に応じて、話の構成を工夫し、場に応じた適切な話し方で話している。 【読】目的に応じて、本や文章を読み、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げている。 【読】目的に応じて、複数の本や資料を選び、比べて読んでいる。	調べて考えたことをもとに、プレゼンテーションを行う。A(1)イ C(1)オ・カ
		言葉の由来に関心を持とう 漢字の練習	・和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。	2		○	○	○	○	【関】言葉の由来に関心を持ち、知ろうとする。 【言】和語・漢語・外来語について理解している。	
12 月	7 本をよんですいせんしよう	ヒロシマのうた	・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。	9		○	○	○	○	【関】関連するテーマの本を読み広げようとする。 【読】人物の生き方を考えながら、同じテーマの本を読んでいる。 【書】本を読んで感じたことや考えたことを整理して書いている。	関連するテーマの他の本を読む。 ☆ 〈プレゼンブックトーク〉
1 月		句会を開こう	・表現を工夫して、俳句や短歌を作る。	4		○	○	○	○	【関】感じたことや発見したことをもとに俳句や短歌を作ろうとする。 【書】言葉を選んだりや表現を工夫したりして俳句や短歌を作り、お互いの作品の良さを伝え合っている。	経験したこと、想像したことなどを基に、短歌、俳句をつくる。B(2)ア
		いにしえの言葉に学ぶ	・昔の人の言葉を読み、そこに表れている考え方を知って、自分の生き方について考えることができる。	3	23					○	【関】いろいろな名言を調べ、自分の経験と重ね合わせることで、昔の人のものの見方や感じ方を知ろうとしている。 【言】文語調で書かれた昔の名言を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知り、自分の生き方について考えている。

3 学 期		言葉は変わる 漢字の練習	・言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知る。	2		○				○	【関】言葉の変化に興味を持って知ろうとする。 【言】言葉が時代とともに変化したり、世代によって使う言葉が異なることがあったりすることを理解している。		
		出会いにありがとう	・意図が伝わるように話の構成や話し方を工夫して話す。 ・話し手の意図を捉えて、自分の経験や考えと比べながら聞く。	5		○	○				【関】心に残る出会いとなった人への思いや出会いから学んだことを伝え合うことに関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。 【話聞】聞き手に印象づける話の構成や話し方を工夫している。 【話聞】話し手の意図を考えながら聞き、自分の経験や考えと比べて感想を伝えたり質問したりしている。	スピーチをする。A(1)イ・エ	
	2 月	8 将来の夢や生き方について考えよう	プロフェッショナルたち	・文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方から、自分の将来の夢や生き方を考える。	8	17	○				○	【関】プロフェッショナルたちの人物像や生き方に興味を持ち、自分の将来の夢や生き方を考え文章にまとめようとする。 【読】文章を読んで考えたことを発表し合うことによって、自分の考えを広げたり深めたりしている。	読み取ったことをもとに、自分の考えをまとめる。C(1)オ
			6年間をふり返って書こう	・六年間を振り返り、伝えたいことを見つける。 ・伝えたいことが伝わるよう表現や構成を工夫して書く。	9		○				○	【関】6年間を振り返り、5年生に伝えたいことを見つけ表現や構成を工夫して書こうとする。 【書】6年間の経験から書くことを決め、5年生に文集で伝えるという活動に応じて書く事柄を集めている。 【書】自分の考えを明確に表現するため文章全体の構成の効果を考えている。	六年間の経験を振り返り、自分の経験や思いを友達や下級生に伝える文章を書く。B(1)ア・イ
3 月	9 未来に向かって	君たちに伝えたいこと 春に	・文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。	4	4	○				○	【関】作品に対する自分の考えや思いを持ちながら読もうとする。 【読】書き手のメッセージをとらえ、自分の考えや思いを深めながら読んでいる。	書き手のメッセージをとらえ、自分の考えや思いを深めながら読んでいる。☆	